

- ドイツのIfo経済研究所による12月の景況感指数は市場予想に反し、3カ月ぶりに上昇。ただし、ロックダウン再延長の可能性などから、欧州主要国経済の先行きは不透明感が強いと思われる。
- 12月の米フィラデルフィア連銀製造業景況指数は市場予想を下回り、6月以降で最低。新規受注と雇用者数の大幅低下が全体の足を引っ張るかたちに。同6カ月先予想指数は2カ月連続で低下した。

独景況感上昇も欧州はロックダウンで不透明感強い

18日にIfo経済研究所が発表した12月の景況感指数は92.1と、前月の90.9（速報値90.7から改定）から90.0へ低下すると市場予想（ブルームバーグ集計。以下、同じ。）に反し、3カ月ぶりに上昇しました。

内訳をみると、現況指数、期待指数ともに前月から上昇し、市場予想を上回りました。このほか、同景況感指数のうち、製造業（食品を除く）指数は2019年3月以来の水準を回復し、同期待指数は3カ月ぶりに上昇しました。Ifoは、ドイツ経済は総じて回復力を示しているとししました。

ただし、新型コロナウイルス感染拡大を抑止するための、ドイツにおける部分的都市封鎖（ロックダウン）について、メルケル首相が来年1月10日の期限再延長の可能性を示唆しているとの報道などもあり、今後、同指数が再び低下に転じることも考えられます。

また、英国では、19日にジョンソン首相が、新たに見つかったウイルスの変異種が強い感染力を持っているとの分析結果を発表し、20日からロンドンなどでロックダウンを実施しました。欧州主要国経済の先行きは依然、不透明感が強いと思われます。

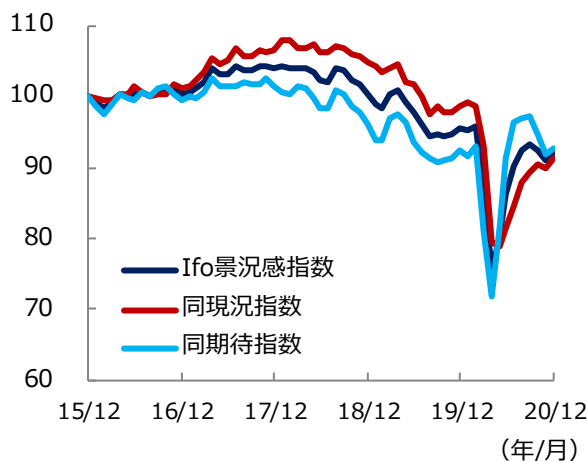
米地区連銀製造業景況感足もと低下基調

米国では、17日に発表された12月のフィラデルフィア連銀製造業景況指数は11.1と、市場予想の20.0を下回り、6月以降で最低となりました。

内訳をみると、新規受注と雇用者数が大幅に低下し、ともに4月以来の低下幅を記録したことが全体の足を引っ張るかたちとなりました。このほか、6カ月先予想指数は2カ月連続で低下しました。また、15日に発表された12月のニューヨーク連銀製造業景況指数は3カ月連続で低下し、8月以来の低水準となりました。

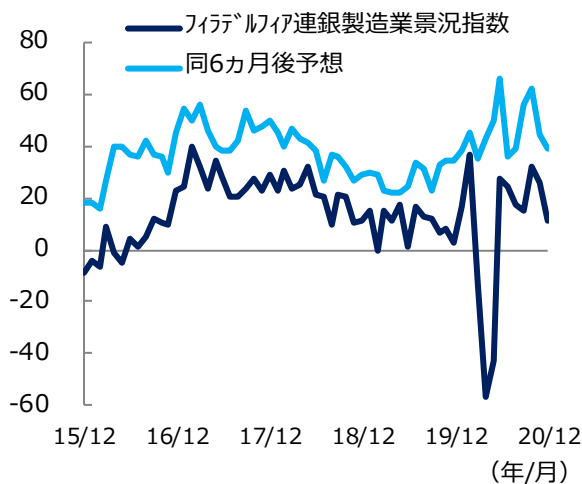
こうしたことから、今後の欧米製造業の動向に注視が必要と思われます。

独 Ifo景況感指数の推移



※期間：2015年12月～2020年12月（月次）
季節調整済み

フィラデルフィア連銀景況指数の推移



※期間：2015年12月～2020年12月（月次）
季節調整済み

出所：ブルームバーグのデータをもとにアセットマネジメントOne作成

※上記は過去の情報および作成時点での見解であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

※巻末の投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項を必ずお読みください。



アセットマネジメントOne

商号等：アセットマネジメントOne株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第324号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項

【投資信託に係るリスクと費用】

● 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券および不動産投資信託証券（リート）などの値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者のみなさまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。

● 投資信託に係る費用について

[ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。]

■ お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料：上限3.85%（税込）

換金時手数料：換金の価額の水準等により変動する場合がありますため、あらかじめ上限の料率等を示すことができません。

信託財産留保額：上限0.5%

■ お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）：上限 年率2.09%（税込）

※上記は基本的な料率の状況を示したものであり、成功報酬制を採用するファンドについては、成功報酬額の加算によってご負担いただく費用が上記の上限を超過する場合があります。成功報酬額は基準価額の水準等により変動するため、あらかじめ上限の額等を示すことができません。

その他費用・手数料：上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書（交付目論見書）等でご確認ください。その他費用・手数料については定期的に見直されるものや売買条件等により異なるため、あらかじめ当該費用（上限額等を含む）を表示することはできません。

※ 手数料等の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することはできません。

※ 上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。

費用の料率につきましては、アセットマネジメントOne株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

※ 投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国が異なることから、リスクの内容や性質、費用が異なります。投資信託をお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ずお受け取りになり、内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客さまご自身が投資に関してご判断ください。

※ 税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。

【ご注意事項】

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。

● 当資料は、情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

● 当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

● 投資信託は、

1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。
2. 購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。
3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。